

2026年4月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社 **ナデックス**



メーカー機能と商社機能を併せ持ち、最適なソリューションを提供する トータルソリューションプロバイダー

ナ・デックスは、産業機器や電子部品を中心とする商社であると同時に、溶接制御機器などのメーカー機能も併せ持ち、多くの製品・商材およびサービスを保有しています。豊富なノウハウを活かしながら、これらを有機的につなぎ合わせ、最適なソリューションを提供しています。

TECHNOLOGY



メーカー

「接合のナ・デックス」として築き上げた実績と技術力で、次世代機器の開発を推進

SUPPLY



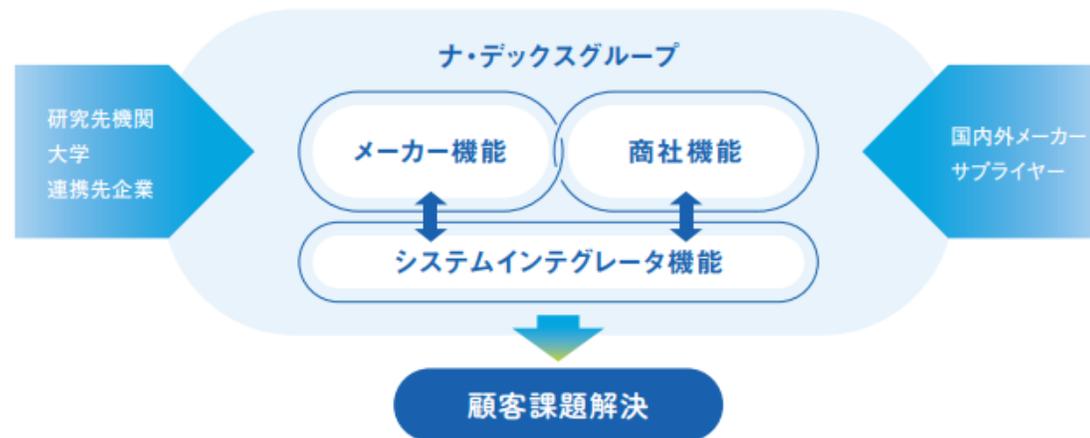
商社・ネットワーク

グローバルネットワークを駆使し、お客様の課題・ニーズに応える安心の供給体制を実現



グループの総合力を活かしたソリューションで、顧客課題解決を実現します！

ナ・デックスの最大の強みは、コア技術である業界トップクラスの抵抗溶接制御装置の「メーカー」としてのポジションに加え、「商社」としての豊富なネットワーク、そして生産システムを構想からカタチにする「システムインテグレータ」機能の三位一体体制です。グループ企業とサプライチェーンパートナーとの共創により、幅広い業界の顧客課題解決を実現するために新たな価値創造を推進していきます。



※コーポレートサイトリニューアルについて
2025年7月11日にコーポレートサイトをリニューアルしております。是非ご覧ください。
<https://www.nadex.co.jp/>

中期経営計画において、成長分野・エリアへの展開による新たな事業の柱を創出するグループ事業戦略を推進しております。中長期的に当社グループが、「継続」「成長」していくためには、既存事業に加え、将来の成長のための新たなチャレンジが必須であり、当社グループが持つ強みを活かせる可能性を全方位的に検討し、成長市場・エリアでの販路拡大・機会創出を企図しております。

特に、中長期的に安定した成長が見込まれる米国における販路の拡大を大きなテーマの一つとしており、社会課題である脱炭素化において、電気自動車(EV)充電ステーションの増設が今後加速することが見込まれ、業績貢献に織り込んでおります。

Uptime EV Charger, Inc.

EV充電インフラの信頼性と稼働率の最大化を目指す米国ミシガン州に本社を置く企業



主な事業内容

<既存事業>

- ・EV充電器のモニタリングシステムの開発・販売・サービスサポート

<新規事業>

- ・充電ステーション建設
- ・ポータブル電源制作・販売



充電ステーション イメージ図



ポータブル電源設備

(ご参考)

米国におけるEV充電設備の普及状況について

EVの普及を加速させるために、連邦政府および州政府が充電インフラ整備に対して積極的な投資を実施中です。

2030年までに新車販売の50%をEVにするという国家目標に向けて、充電設備の拡充が急務とされています。

- 売上高は、77.6億円となり、前年同期比6億円の増収。
- 営業損失は、0.8億円となり、2期連続の最終赤字。
- 案件の顧客都合による納期変更などが生じているが、当年度内に解消見通しのため半期および通期予想は変更なし。

(単位：百万円)

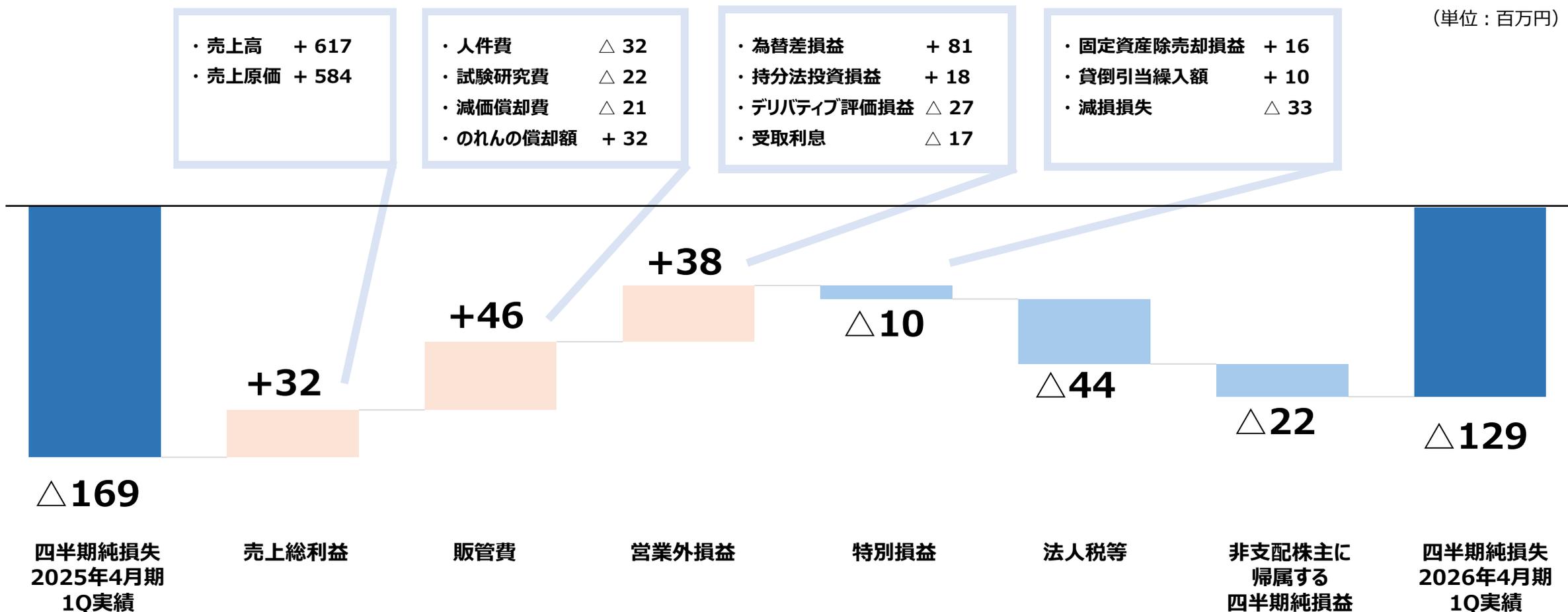
	2025年 4月期 1Q実績	2026年 4月期 1Q実績	増減	2026年 4月期 半期予想※2	進捗率	2026年 4月期 通期予想	進捗率
売上高	7,142	7,760	618	20,800	37%	43,000	18%
営業利益又は 営業損失(△)	△ 161	△ 82	79	390	-%	1,600	-%
経常利益又は 経常損失(△)	△ 129	△ 11	117	450	-%	1,900	-%
四半期純利益又は 四半期純損失※1 (△)	△ 169	△ 129	40	80	-%	850	-%

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

※2 第2四半期(累計)

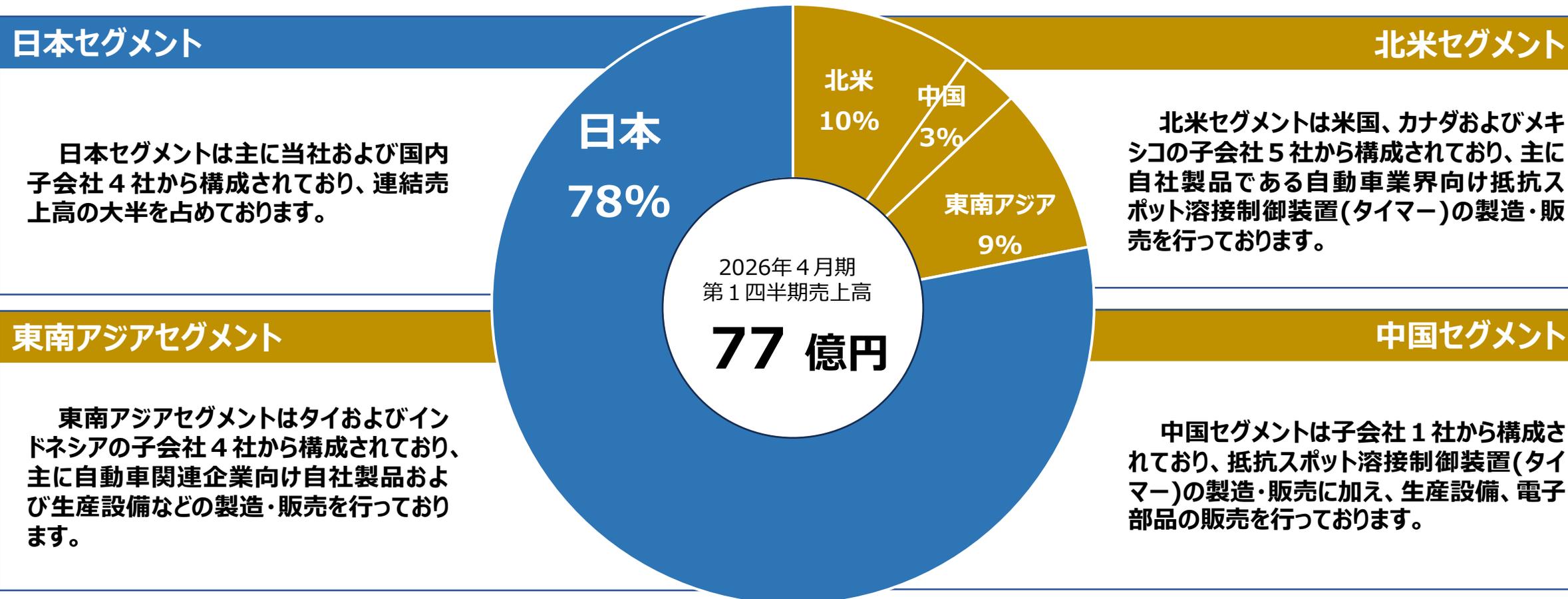
四半期純利益の増減要因

- ▶ 売上総利益は、前年同期に比べて0.3億円の増益。
北米セグメントでの前年のM&A効果に加え、東南アジアセグメントでの自動車設備需要が増加したことなどが主な要因。
- ▶ 営業外損益において為替差益(前年同期は為替差損)を計上したことなどにより、四半期純損失は0.4億円圧縮。



▶ 当社グループは、製造・販売を基礎とする地域別の4つのセグメント(日本、北米、中国および東南アジア)から構成されております。

■ 国内 ■ 海外



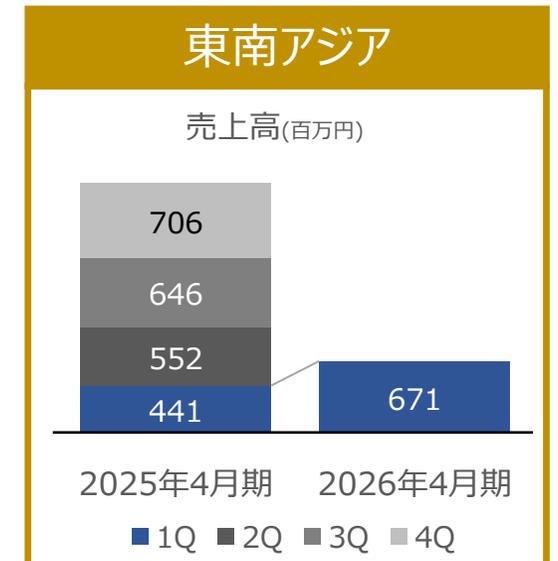
※ 比率は、セグメント間の内部売上高を除く構成比

地域別セグメント



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2025年4月期 1Q実績	2026年4月期 1Q実績	増減	2025年4月期 1Q実績	2026年4月期 1Q実績	増減
日本	6,048	6,395	+ 346	43	△ 15	△ 58
北米	594	794	+ 199	△ 152	△ 69	+ 83
中国	415	253	△ 162	△ 17	△ 29	△ 12
東南アジア	441	671	+ 229	△ 28	7	+ 35

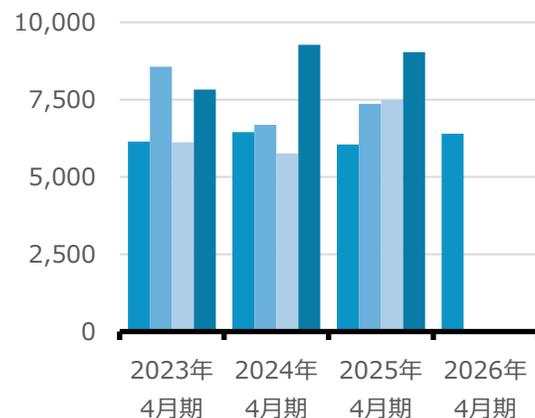


地域別四半期別推移

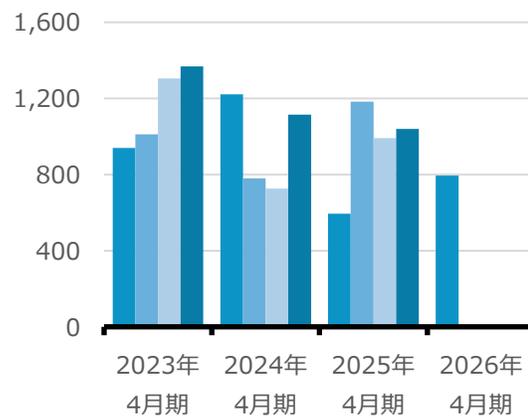
単位：百万円

売上高

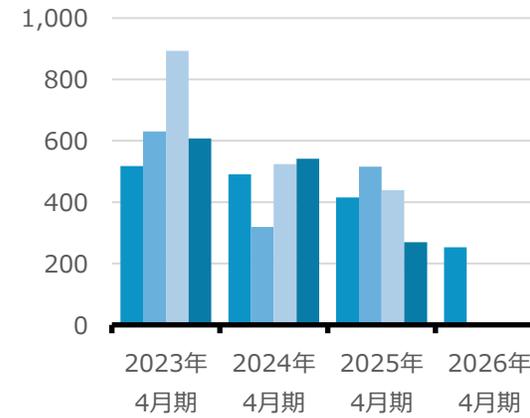
日本



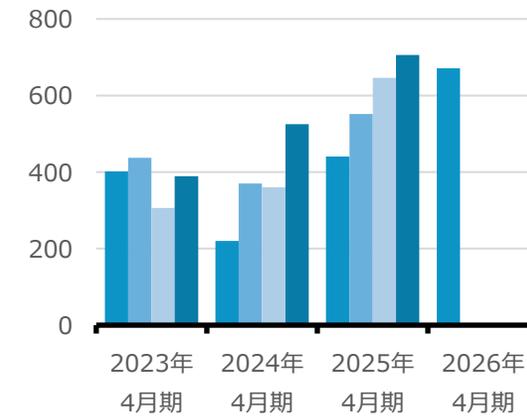
北米



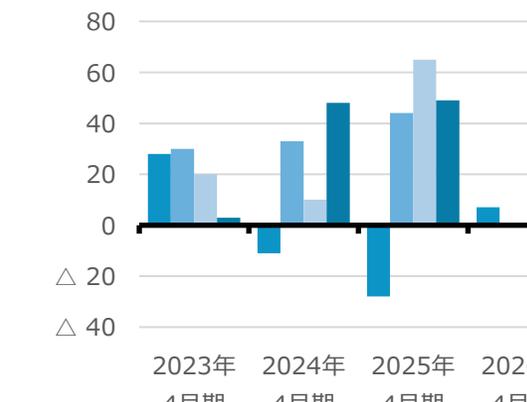
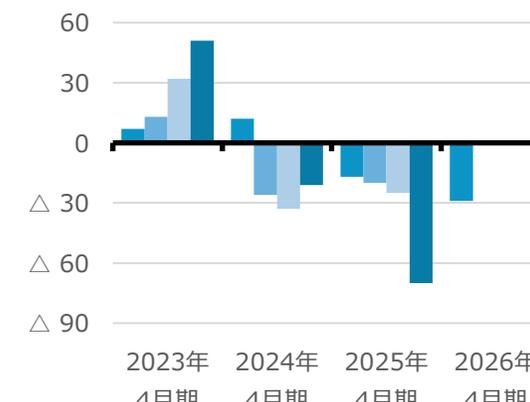
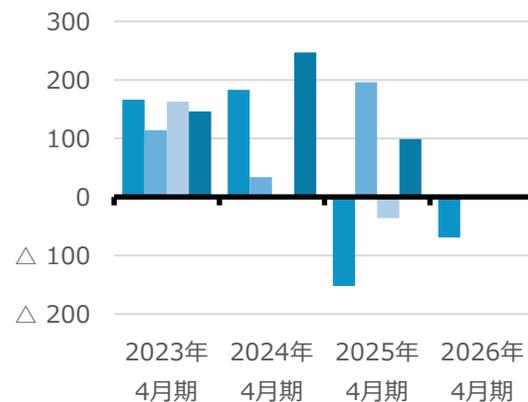
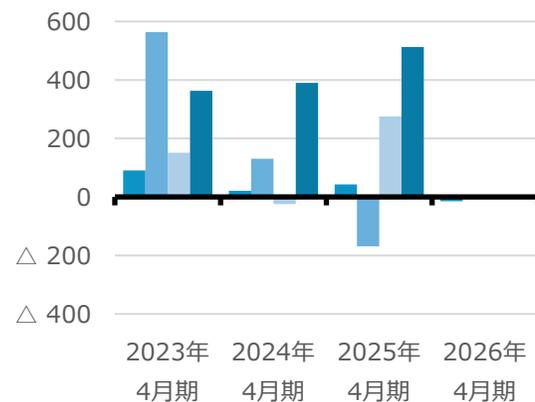
中国



東南アジア



営業利益



參考資料

➤ 当社グループは、次の4つを主要な事業として行っております。

■ メーカー機能 ■ 商社機能

プロセスソリューション(PS)事業

国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

システムインテグレーション(SI)事業

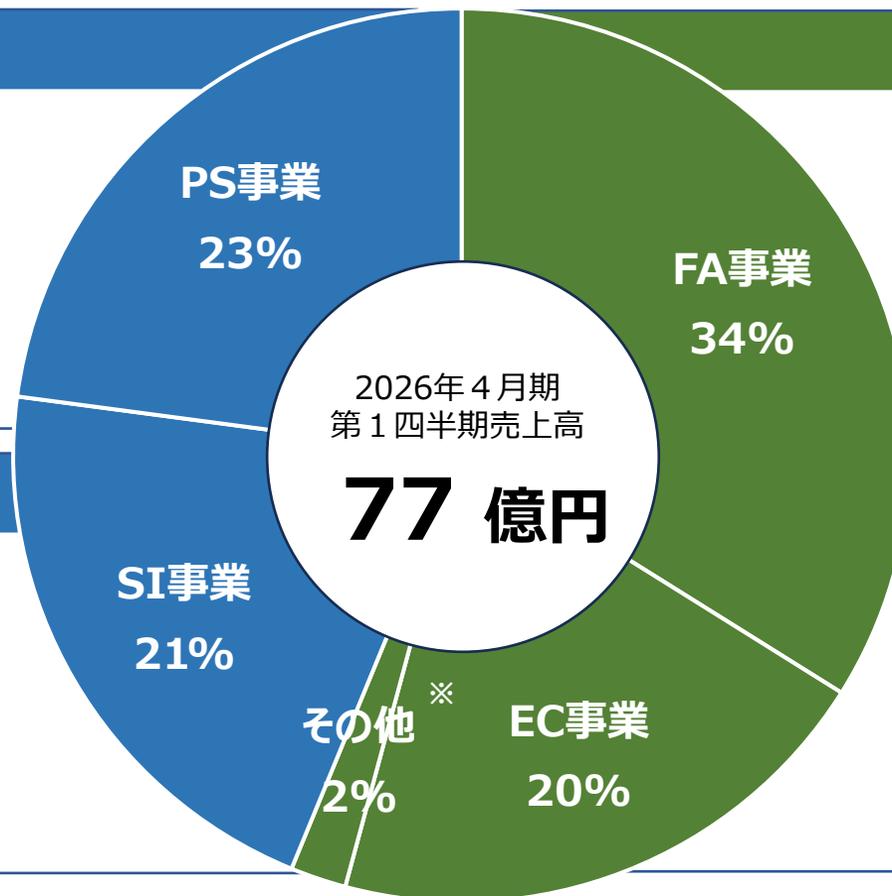
お客様が求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。

ファクトリーオートメーション(FA)事業

ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

制御部品(EC)事業

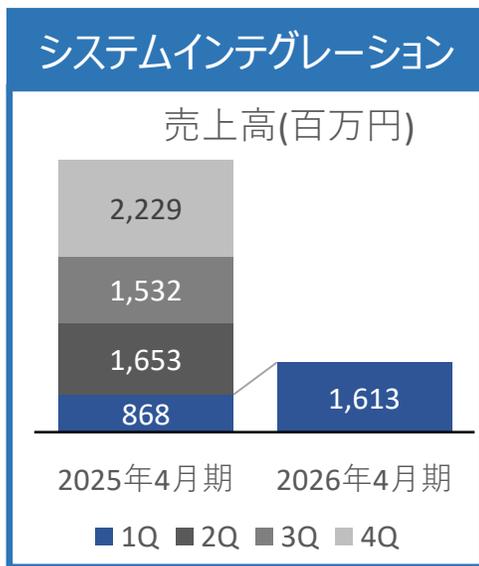
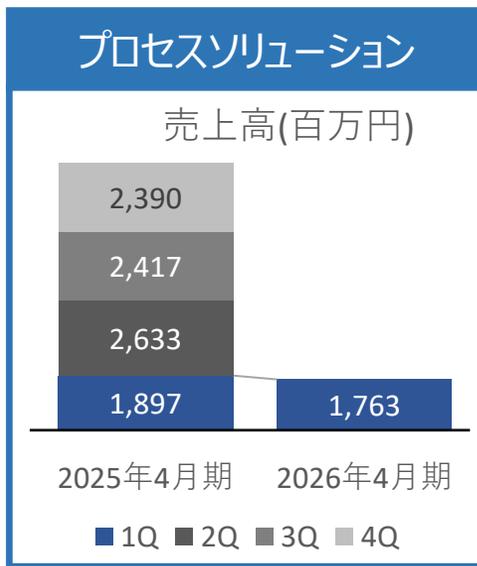
電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客様の課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。



※「その他」は、2024年にM&AしたUptime EV Charger, Inc.であります。

(単位：百万円)

	2025年4月期度 1Q実績	2026年4月期 1Q実績	増減	
プロセスソリューション(PS)事業	1,897	1,763	△	133
システムインテグレーション(SI)事業	868	1,613	+	745
ファクトリーオートメーション(FA)事業	2,798	2,616	△	181
制御部品(EC)事業	1,579	1,563	△	15
その他	—	202	+	202



(注) セグメント間の内部売上高を除く売上高を記載しております。

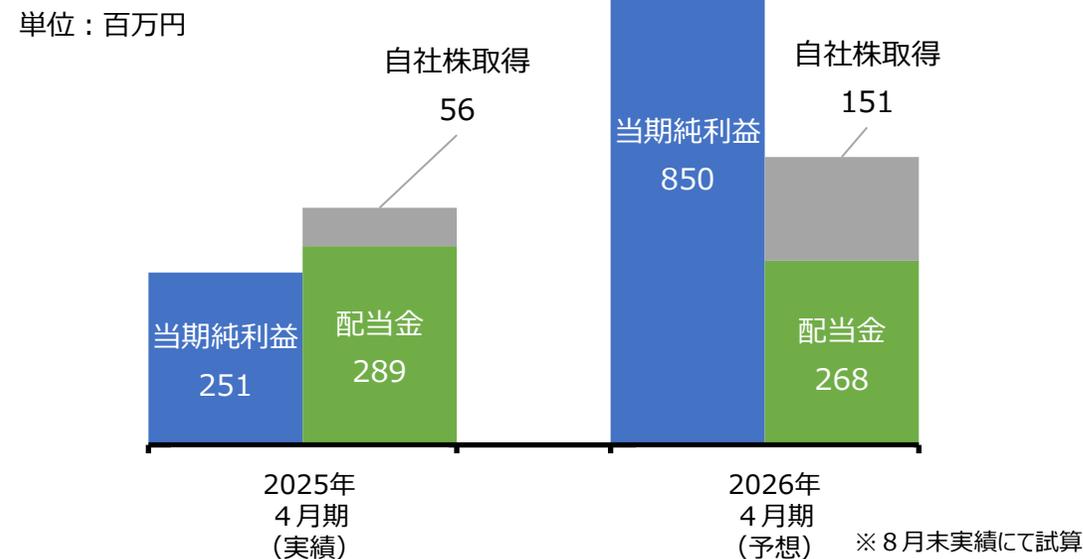
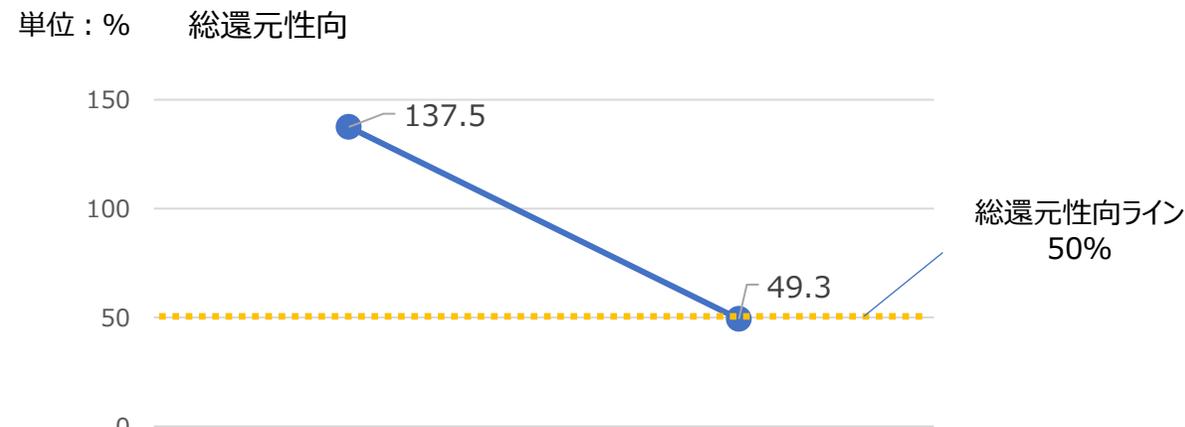
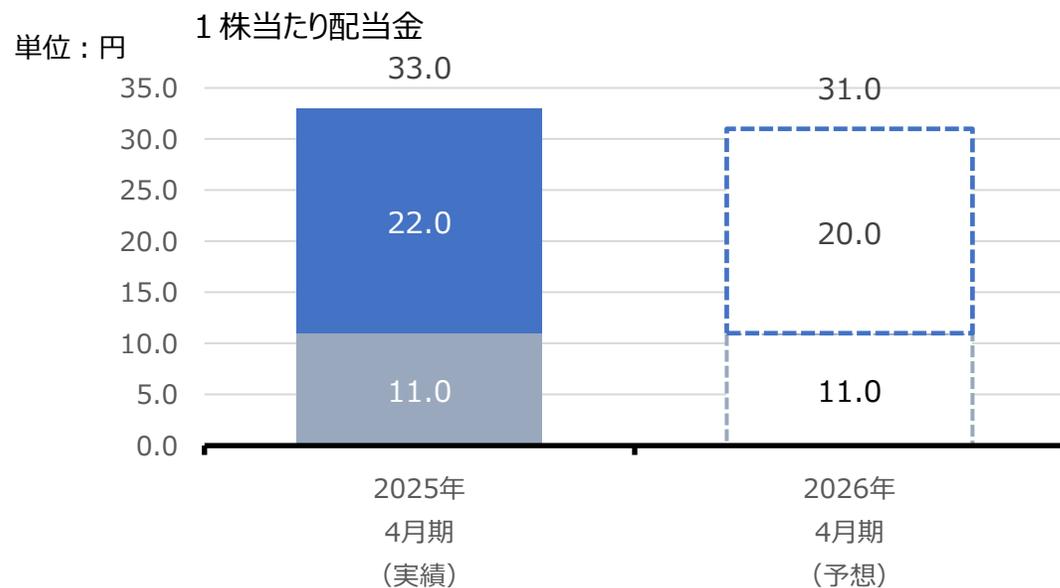
(単位：百万円)

	日本			北米			中国			東南アジア		
	2025年1Q	2026年1Q	増減	2025年1Q	2026年1Q	増減	2025年1Q	2026年1Q	増減	2025年1Q	2026年1Q	増減
PS事業	1,253	1,154	△ 98	493	515	+ 21	83	50	△ 33	66	43	△ 22
	—			—			—			—		
SI事業	767	1,307	+ 539	19	8	△ 11	—	—	—	80	298	+ 217
	自動車の設備需要			—			—			日系自動車の設備需要		
FA事業	2,312	2,227	△ 84	54	59	+ 5	165	37	△ 127	266	292	+ 25
	—			—			日系企業の投資縮小			—		
EC事業	1,392	1,365	△ 27	—	—	—	163	163	△ 0	23	35	+ 11
	—			—			—			—		
その他	—	—	—	—	202	+ 202	—	—	—	—	—	—
	—			前年のM&A効果			—			—		

中期経営計画期間における配当方針

「総還元性向50%以上（3年間継続）」を掲げ、
連結配当性向30%以上を目途とする配当を
実施しつつ、自己株式の取得等を行う

※期初の業績予想を大きく下回る減益となるも、
安定配当の継続を優先する観点から、
配当は一定の水準を保った為



(将来に関する記述等についてのご注意)

- **本資料に開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知および未知のリスクや不確実性およびその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。**
- **こうしたリスク、不確実性およびその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。**
- **従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。**
- **本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。**